

## 末広中グループ（末広中） 「地域とともに」（R6.3）



2月22日(木)、今年度最後の学校運営協議会が行われました。今回は、①今年度の成果と課題について、「学校評価部会」と「地域支援部会」からの報告 ②令和6年度の小中一貫教育構想と組織の提案・協議・承認が主な内容でした。例えば、評価委員の方々からは、『不安がある小6保護者に対して中学校教員による教育相談ができる場を設定したり、児童生徒には別室の活用等で居場所を設けたりして、一人一人を意識した取組や個に配慮した教育活動がなされていたことは大いに評価できる』『多忙化解消のために“末広学園らしさ”を失ってほしくない』等、今後の指針となるご意見を多くいただきました。また、スリム化と明確さを目的とした組織改編の提案も行いました。終了後は、柔道場で開催されている「末広中生・地域合同作品展」を参観していただきました。来年度に向け、持続可能で地域と一体となった小中一貫教育を継続してすすめていきたいと思えます。



3月10日(日)、卒業式応援プロジェクトとして今年度も末広中学校のグラウンド整備を行いました。4名の末広学園の地域学校協働活動推進員の方々が企画・運営の中心となって午前中の約2時間、グラウンド周りの草取りや枝の伐採、盛り土ならし等を行いました。PTAや地域の方々、中学生、教職員、合わせて87名の皆さんが卒業式を控えた学校環境をより良くしていくために汗を流してくださいました。本当にありがとうございました。





1年生は「地域から学び地域に発信する総合的な学習」に取り組んでいます。2月29日(木)、地域のスペシャリストを招待し、それぞれの講座からの学びの成果として、各学級代表による学年発表会を行いました。茶師、測量技術、福祉、お囃子、浅間神社、イラストレーターの6分野について、9名の代表者がスライドをもとにリモートで発表しました。どの発表も講座の分野について学んだことをまとめた上で、これに+α（独自の調査内容、地域の自慢とは？もっと知りたいことは？等）を加え、スライドの映像にも工夫を加えながらの素晴らしい内容でした。例えば、未広地区の自慢は「伝統を伝えようと努力しているところ」「人々が支えあっているところ」等、人の内面にまで踏み込んでいたり、“暮らしやすいまちづくり”のために自分自身ができることについて提案したりと質の高さを感じさせるものでした。参観したスペシャリストの方々にも喜んでいただき、1年間の総合の成果を実感するにふさわしい時間となりました。来年度、2年生ではスペシャリストの方々の職場を含め、地域の職場での体験学習を計画しています。学習を通じて、「地域から学び、地域に発信する総合的な学習の時間」の学びが、より深く実感の伴ったものになっていくことを期待しています。